

各位

2018年7月10日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
総務広報部（広報）担当：森川  
TEL：03-6863-0048

### 旅行取扱状況の概観（平成30年5月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比 81.8%と前年を下回り、学生団体は同 126.4%と前年を上回ったが、団体旅行合計で同 87.5%と前年を下回った。企画旅行については前年比 97.3%と前年を下回り、個人旅行については同 109.9%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 98.2%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比 93.4%と前年を下回ったが、学生団体は同 108.2%と前年を上回り、団体旅行合計で同 103.5%と前年を上回った。企画旅行については前年比 90.3%と前年を下回り、個人旅行については同 95.1%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 95.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 100.1%と前年並となった。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 5 月の総取扱額は前年比 96.7%となり、前年を下回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、前年の大型企業系コンベンションや視察などの反動減の影響により前年比 81.8%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行の取扱人数が増加したことにより、同 126.4%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 87.5%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比 97.3%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アジア方面は好調に推移したが、ヨーロッパ方面一部商品のクラブツーリズム商品への一体化による減少に加え、ミクロネシアやアメリカ、オセアニア方面などが不調に推移した。クラブツーリズムはハワイ島キラウエア火山噴火の影響も受けたが、その他は大きな外的リスク要因も少なく、ヨーロッパ、アジア、中国方面を中心に概ね好調に推移した。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 98.2%と前年を下回った。

##### 2. 外国人旅行

外国人旅行は、前年の大型団体による反動減があったが、個人旅行の宿泊やレイルパスの取扱が好調に推移し、前年比 100.1%と前年並みとなった。

##### 3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、職場旅行や親睦旅行、趣味の旅行など取扱が増加したが、前年の大型のイベント団体参拝旅行や企業系コンベンションの影響により前年比 93.4%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行や宿泊研修旅行などの取扱人数が増加し、同 108.2%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行で前年比 103.5%と前年を上回った。

国内企画旅行については、前年比 90.3%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、前年のゴールデンウィークとの日並び相違の影響により全般的に減少した。クラブツーリズムは、バス旅行部門が桜の早期開花の影響もあり全般において低調であった。バス旅行を除く国内旅行部門についても桜の早期開花、霧島新燃岳の噴火などの影響を受け売上げが減少した。道東、東海、南紀、伊勢、中部、沖縄離島、名古屋発の九州、沖縄、関西発の東北は堅調であった。以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 95.6%と前年を下回った。

以上